

脳梗塞急性期連携について小澤院長が症例報告をおこないました。



4/18横浜駅周辺にて医師会の先生を対象とした、「横浜東部脳卒中連携の会」がおこなわれ、当院の小澤仁医師が他院との急性期治療での連携について報告をいたしました。症例は汐田総合病院で脳梗塞と診断されt-PA治療（血栓溶解療法）を行った後、血管内治療を行い、溶かしきれなかった大きな血栓を回収した事例です。

現在、「Drip-ship-Retrieve」といわれる脳梗塞の治療連携システムが推奨されています。ドリップ(Drip)は「t-PAの点滴」、シップ(Ship)は「患者さんの搬送」、リトリーブ(Retrieve)は「カテーテル治療による血栓摘出」を指します。

この方法は最初の搬入施設でt-PA治療の点滴をすぐ開始するという点がポイントで、その理由としてはt-PAの点滴だけで患者さんの状態が改善することがあるためです。しかしt-PA療法は重症例や脳の太い血管の閉塞例では効果が低いため、t-PA開始後に救急搬送し、血管内治療が可能な施設に到着した時点で症状が改善していなければ血管内治療で血栓を回収し、血管を再開通させるというシステムです。現在、血栓回収が行える施設はまだ限られており、365日24時間の体制をとっている施設はさらに少ないという課題もあります。将来、こういったシステム整備がすすむことにより、救命率や回復率の向上が期待されています。



学習会のお知らせ

・「うしおだグループと市民の健康サポート教室」

テーマ：知って良かった脳卒中予防

入場無料

講師 汐田総合病院 院長 小澤 仁医師

2018年6月25日(月) 15:00-16:30

会場：ココファン横浜鶴見(旧鶴見会館跡)

対象：市民の皆様

脳卒中予防、改善すべき生活習慣や、脳卒中医療の現状、脳ドックでわかることなどをお話しします

・「地域医療介護学習会」

テーマ・看取りについて考えよう。

～患者の意思決定と新ガイドライン～

2018年6月19日(火) 18:00～19:30 申し込み要

会場：汐田総合病院会議室 対象：医療介護従事者向け



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます♡

汐田総合病院 会場：ラウンジぴゅあ(病院2階)

5月10日(木)6月14日(木) 14:00-16:00

うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

5月10日(木)6月14日(木) 13:30-15:30

ふれあい健康まつりにメモリーカフェ出店

2018年5月27日(日)10:30～12:30時(カフェの時間)

会場：汐田総合病院



認知症実践ハンドブック



世界に類のないスピードで進む高齢化に伴い、認知症患者の増加しています。

その中で様々な現場で、認知症の患者さんと接することとなりますが、本誌では全国の民医連での認知症医療・介護の実践例が紹介されています。日常の医療介護だけでなく、地域連携やまちづくり、自治体との共同の取り組みを進めていく上での資料としてご活用ください。



全日本民主医療機関連合会 編



スタッフのひとこと

年明けの頃、電車の中吊り広告で厄年を迎えたことを知ったのですが、その時はまだ元気で他人事でした。少し経つと歯痛に始まり、止まらない咳、首の痛みと切れ目のない病病連携。おかげで病院と薬局の領収書が溜まること。途中で慌ててお寺に行き健康を祈りましたが、時すでに遅し…普段、患者さんからの訴えなど聞く際には、相手の立場で考えるようにしていたつもりですが、実際わが身となると、怒りっぽくなったり、「手伝います」の一言が出ない余裕のなさ。痛みの恐ろしさ改めて知り、まだまだ他人事だったかな? と思い知らされました。この気持ちを忘れないでおうと思いますが、まずは痛い痛い飛んでいけ～！ T・S



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all